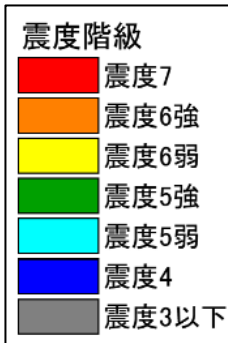


1. ハザード評価

(1) 地震動

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス



<震度別面積割合>
(参考) 総面積 = 8.7km²

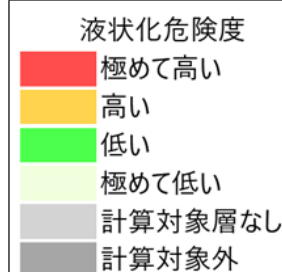
震度階級	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km ²)	割合	面積 (km ²)	割合
7	0.0	0%	0.0	0%
6強	8.7	99%	0.0	0%
6弱	0.0	1%未満	8.7	100%
5強	0.0	0%	0.0	0%
5弱	0.0	0%	0.0	0%

※震度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

(2) 液状化

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス



<液状化危険度別面積割合>
(参考) 総面積 = 8.7km²

液状化危険度	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km ²)	割合	面積 (km ²)	割合
極めて高い	6.6	76%	6.5	75%
高い	1.0	11%	1.0	12%
低い	0.1	1%	0.2	2%
極めて低い	0.0	0%	0.0	0%
計算対象層なし 計算対象外	1.0	12%	1.0	12%

※液状化危険度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

1. ハザード評価

(3) 沿岸最大津波高

L2	L1
3m	3m

(4) 沿岸津波到達時間

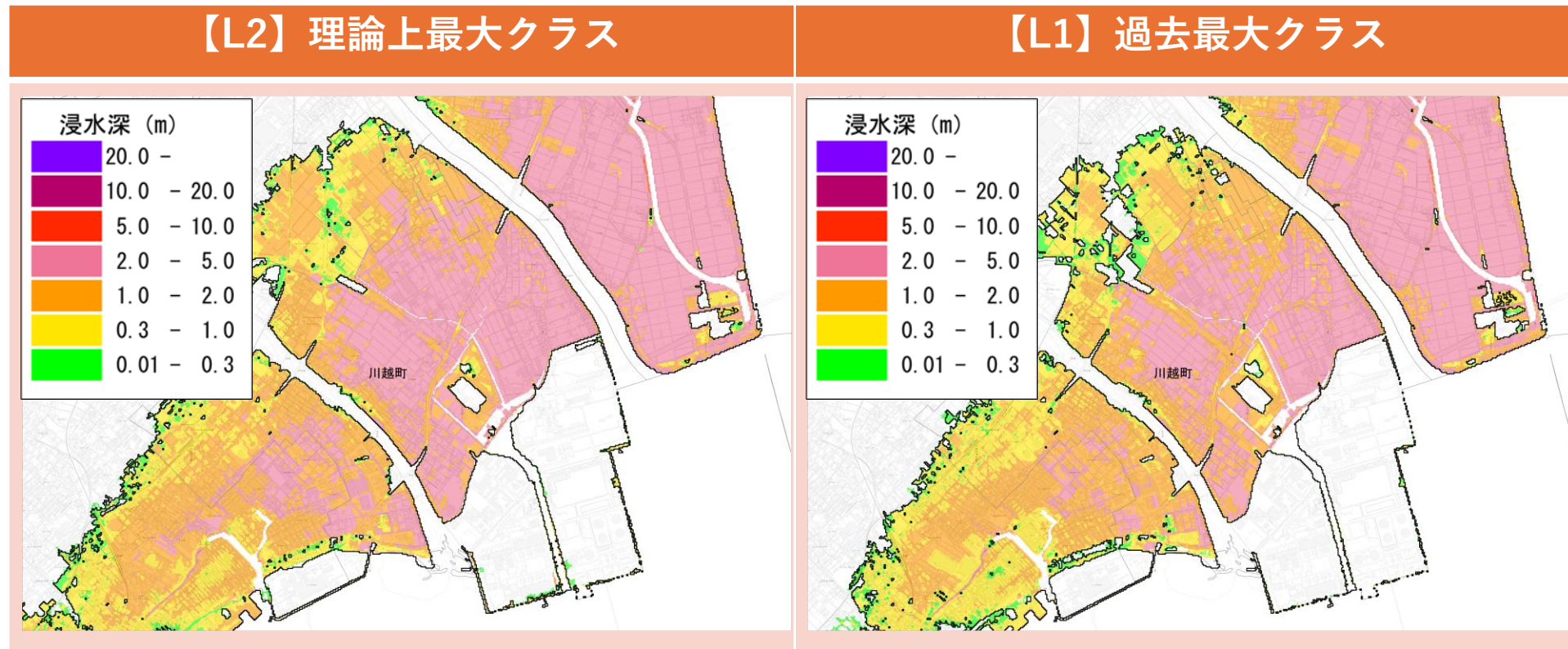
L2	L1
81分	88分

※沿岸で1mの水位変動が発生するまでの最短の時間

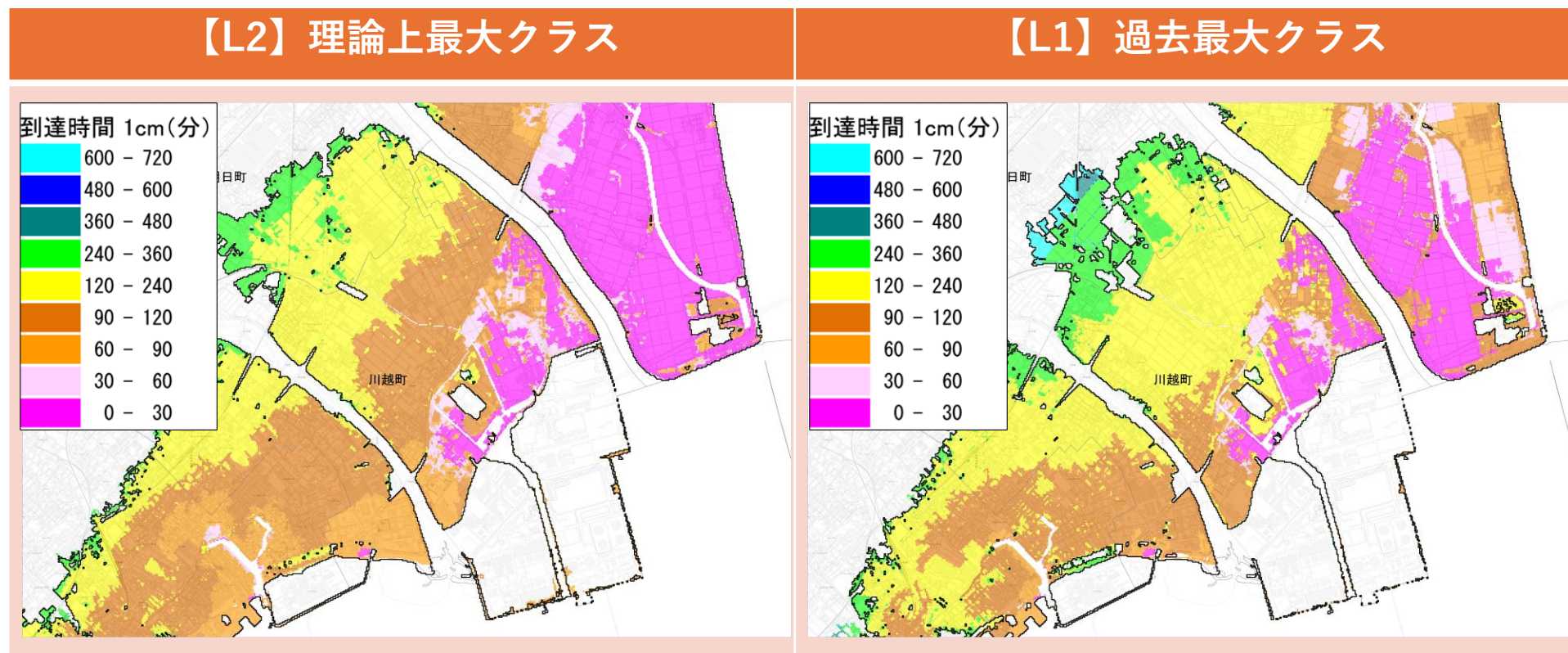
(5) 津波浸水面積

L2	L1
528ha	502ha

(6) 津波浸水深



(7) 津波浸水深到達時間 ※陸上で1cmの浸水が発生するまでの時間



2. リスク評価

(1) 人的被害

※L2の死者数は津波ケース⑨の推計結果
 ※季節・時間帯：冬・深夜
 ※津波からの早期避難者比率が低い場合

定量評価項目	L2	L1
死者数（人）	約700	約200
うち建物倒壊等	約30	-
うち津波	約700	約200
うち急傾斜地崩壊等	-	-
うち火災	-	-
うちブロック塀 ・自動販売機転倒 および屋外落下物	-	-
重傷者数（人）	約80	約10
軽傷者数（人）	約200	約80
建物倒壊等による 自力脱出困難者数（人）	約200	約20
津波被害による 要救助者数（人）	約600	約500
津波被害による 要捜索者数（人）	約600	約200

(2) 建物被害

※L2の全壊・焼失棟数は津波ケース⑥の推計結果
 ※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
全壊・焼失棟数（棟）	約2,600	約1,500
うち揺れ	約800	約90
うち液状化	約100	約100
うち津波	約1,600	約1,300
うち急傾斜地	-	-
うち火災	約100	-
半壊棟数（棟）	約3,200	約3,800
うち揺れ	約600	約300
うち液状化	約500	約600
うち津波	約2,100	約2,900
うち急傾斜地	-	-
ブロック塀等の 転倒数（件）	約200	約50
自動販売機の 転倒数（件）	約10	約10
屋外落下物の 発生数（件）	約100	-

(3) 火災被害

※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
炎上出火件数（件）	-	-
残火災件数（件）	-	-
津波火災発生件数（件）	-	-

概観（理論上最大クラス）

【ハザード評価】

広い範囲で震度6強となり、液状化が広く発生します。また、30分以内に浸水がはじまる地域も見られます。

【リスク評価】

理論上最大クラスで想定される死者の9割以上が津波で亡くなり、建物も町全体の約2割が津波で、約1割が揺れにより全壊します。また、液状化の発生によって津波からの避難に影響が生じます。

※「-」：わずか（5未満）
 ※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。